



特別展 日本工芸会陶芸部会50周年記念展

未来へつなぐ陶芸 伝統工芸のチカラ

愛知県陶磁美術館
AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

会場 愛知県陶磁美術館 本館
開館時間 午前9時30分から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)
※4月15日(土)は開会式のため、観覧は午前11時から
主催 愛知県陶磁美術館、公益社団法人日本工芸会、NHKエンタープライズ中部
後援 愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社(リニモ)

休館日 毎週月曜日(ただし5月1日(月)は開館)
観覧料 一般900円(720円)、高校・大学生700円(560円)、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金
※上記料金で本館・南館常設展示もご覧いただけます。
各種割引制度については公式WEBページでご確認またはお問い合わせください。



公式WEBページ



2023.
4/15 [土]
≡
6/18 [日]

上:《染付金魚鉢》2018年 小枝真人・個人蔵
下:《緑釉花器》2019年 鈴木 徹・個人蔵

我が国が誇る工芸技術「陶芸」は、時代とともに技法や表現が多様化し、現代まで著しく進化を遂げてきました。とりわけ昭和戦後期以降には、陶芸家の創作活動が活発化し、意欲的な作品が次々と発表されています。1950年には陶芸をはじめ、さまざまな分野の工芸技術の保存と活用を目的に文化財保護法が施行され、その5年後の文化財保護法改定を機に、「日本工芸会」が発足しました。日本工芸会は、重要無形文化財保持者（いわゆる人間国宝）を中心に、各分野の伝統工芸作家、技術者等で組織され、「日本伝統工芸展」を中心に作品を発表。そして1973年には、同会陶芸部会所属の作家による「第1回新作陶芸展（陶芸部会展）」が開催され、現在に至っています。

本展は日本工芸会陶芸部会50周年を記念した展覧会であり、同会で活躍した作家の秀作とともに、その活動の歴史を振り返るものです。歴代の人間国宝作品をはじめ、窯業地ならではの素材と伝統を受け継いだ作家らによる作品、茶の湯のうつわ、さらに未来を担う若手作家らの作品も含め、137名の作家による名品139点を展覧いたします。

◆記念講演会

事前申込不要

①「日本の伝統陶芸の歴史的展開と未来への展望」

会場：本館 地下講堂 ※定員100名（先着順）
 日時：4月15日(土) 午後1時30分～午後3時
 講師：唐澤昌宏氏（国立工芸館館長／本展監修者）

②「東海陶芸の伝統を語る～つくり手の視点から～」

会場：本館 地下講堂 ※定員100名（先着順）
 日時：5月14日(日) 午後1時30分～（1時間程度）
 講師：梅本孝征氏、鈴木 徹氏（いずれも本展出品作家）
 聞き手：伊藤嘉章（当館総長）

◆連続講座

事前申込不要

「もっと知りたい!伝統工芸」

会場：本館 地下講堂 ※定員100名（先着順）
 いずれも午後1時30分～（1時間程度）

- ①「中国陶磁と伝統工芸」 4月30日(日) 田畑 潤(当館学芸員)
- ②「日本中世陶磁と伝統工芸」 5月 7日(日) 小川裕紀(当館主任学芸員)
- ③「日本近世陶磁と伝統工芸」 6月 3日(土) 佐久間真子(当館学芸員)
- ④「現代陶芸のなかでの伝統工芸」 6月10日(土) 入澤聖明(当館学芸員)

◆学芸員のギャラリーツアー

「伝統工芸のここがすごい!」

会場：本館第1・2・7展示室
 日時：4月22日(土)、5月5日(金・祝)、5月27日(土)、6月18日(日)
 午後1時30分～（1時間程度）

◆レクチャー&実演イベント

「技をみる～染付の世界～」

会場：本館1階展示説明室
 日時：4月29日(土) 午後1時30分～3時30分
 担当：小枝真人氏（本展出品作家）

【申込方法・注意事項などの詳細は当館公式WEBページをご確認ください】

同時期開催

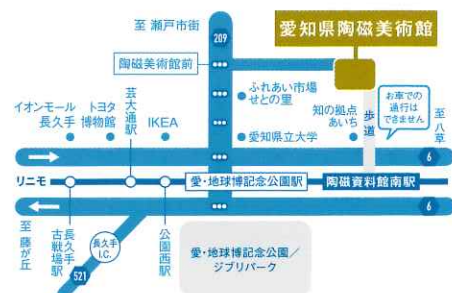
- ◆「瀬戸・常滑陶芸協会展(仮)」 4月29日(土)～5月28日(日)
 主催：瀬戸陶芸協会、常滑陶芸作家協会 会場：本館1階ギャラリー
- ◆テーマ展「名古屋絵付って何 その②(仮)」
 4月8日(土)～6月18日(日) 会場：南館1階



1《志野茶碗》荒川豊蔵 1957年 東京国立近代美術館蔵 / 2《色絵金銀彩四弁花染付風景文字模楀壺》富本憲吉 1957年 東京国立近代美術館蔵 / 3《瀬戸黒茶碗》加藤孝造 2021年 個人蔵 / 4《志野茶碗》鈴木 蔵 2019年 個人蔵 / 5《梨皮窯変茶注》村越風月 2021年 個人蔵 / 6《色絵流加彩割器》梅本孝征 2020年 個人蔵 / 7《黒白彩流文花器》清水 潮 2020年 個人蔵 / 8《Nerikomi Porcelain Sparkle》室伏英治 2013年 東京国立近代美術館蔵

瀬戸市のやきもの展覧会情報

- ◆瀬戸市美術館 TEL.0561-84-1093
 せとものフェスタ2023 瀬戸市美術館特別展
 「収集された海外の陶磁器—国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター—収蔵品を中心に—」
 「第4回瀬戸・藤四郎トリエンナーレグランプリ受賞者展 赤平史香展」
 4/15(土)～5/28(日)
- ◆瀬戸蔵ミュージアム TEL.0561-97-1190
 埋蔵文化財センター企画展「新出土品展(仮)」 5/21(日)～8/20(日)
- ◆瀬戸染付工芸館 TEL.0561-89-6001
 「瀬戸染付花物語—花恋—KAREN」 4/1(土)～6/25(日)



- 公共交通機関
 リニモ「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m(リニモへは地下鉄東山線「藤が丘」駅又は愛知環状鉄道「八草」駅で乗り換え)
 名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野団地」經由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・祝日のみ)
- 自家用車
 駐車場無料・250台収容、大型バス9台収容

休館のお知らせ

愛知県陶磁美術館は2023年6月19日(月)から2025年3月末まで改修工事に伴い休館となります。休館中は当館コレクションを他館で展示予定です。会場や会期などの詳細はWEBページで順次公開します。